



秋田県立湯沢翔北高等学校雄勝校

中期ビジョン（5か年計画）【令和8年度～令和12年度】

I 本校が目指す姿

スクール・ミッション

地域と連携した体験的な学びを通じて、主体的に考え豊かな個性を生かして地域社会に貢献できる、自立した人材を育成する学校

スクール・ポリシー

(i) グラデュエーション・ポリシー（目指す生徒像～このような生徒を育てます～）

自啓自発の精神、課題解決力を身に付け、学びを生かした新たなものづくりの意欲に満ち、主体的に自らの進路や社会の未来を切り開く力と豊かな人間性を備えた生徒

(ii) カリキュラム・ポリシー（本校の学び～このような学びを展開します～）

自啓自発の精神で自ら学び考える主体的な学習態度・責任と協調、礼儀・健やかな心身の育成と、体験的な学習を通じて、生徒一人一人の豊かな個性や能力を伸ばすことを教育方針とし、その実現のために以下の教育を行う。

- ① 望ましい職業観・勤労観を育成するために、生徒の進路希望や地域のニーズに応えるカリキュラムを編成し、地元企業や地域人材と連携を図りながら実践的な教育を行う。
- ② 社会に意欲的に貢献できる人間を育てるために、基本的生活習慣の確立を図るとともに、責任と協調を重んじ、礼儀正しく他の人を思いやる心を育む。
- ③ 学力の向上を図るために、学習指導を通じて、課題解決に向けて自ら学び考える主体的な学習態度を身に付けさせる。
- ④ 将来にわたって社会的自立を果たす人材づくりを行うために、体験学習を通じて、生徒一人一人の豊かな個性や能力を伸ばす。
- ⑤ 誰にとっても安心して過ごせる学習環境を整えるために、ユニバーサルデザインの視点を取り入れる。

(iii) アドミッション・ポリシー（求める生徒像～このような生徒を受け入れます～）

- ① 自立した社会人になるための基礎学力が身に付いている生徒
- ② 元気な挨拶ができ周囲とコミュニケーションがとれる生徒
- ③ 自然に対する豊かな感性と伝統文化の継承意思をもつ生徒
- ④ 前向きな姿勢をもち心身のバランスがとれた生徒



Ⅱ スクール・ポリシーを踏まえた5年間の取組

現状と課題

令和2年4月、湯沢翔北高等学校の地域校として開校した。前身である雄勝高等学校で実践されてきた「地域に根ざした学校づくり」という学校の方向性を継承し、地域を愛し、地域から学び、地域に貢献する生徒の育成に努めている。しかし、生徒数の減少に加え、入学する生徒が多様化・複雑化してきており、生徒が安心・安全に学習に取り組めるような環境整備の強化が大きな課題の一つである。地域の将来を担う人材として、確かな学力とともに社会人基礎力を育成するため、個に応じた対応や体験学習を充実させるとともに、学校を取り巻く地域の人々の協力を得ながら、地域と共に歩む雄勝校の教育を推進していく必要がある。

具体的な取組

(1) 学習指導

- ① 学校設定科目「雄勝野タイム」や放課後補習による個に応じた丁寧な学習指導によって、基礎基本の定着と思考力の育成を図る。
- ② 学校設定教科「地域」並びに「総合的な探究の時間」を活用し、地域を学び、地域を理解する体験的・実践的な活動を実践する。
- ③ ICTを活用し、生徒のデジタル技術や情報モラルを育成するデジタル教育を推進する。
- ④ 他者との対話や協働作業を通し、自分の考えを相手に適切に発信する能力を伸ばす授業を展開する。

(3) 生活指導

- ① 規範意識を育成し、ぶれない指導を徹底する。
- ② 学年部を中心とする教職員と保護者の共通理解と連携を図る。
- ③ 他者との関わり方を学ぶことで、多様な人々を受け入れ、社会の中で共生していく心を育てる。

(2) 進路指導

- ① 生徒の内面を聞き出す面談を実施し、より深い自己理解を促す。
- ② 個に応じた補習や添削指導を充実させる。
- ③ 生徒の主体的なインターンシップを推進する。
- ④ 福祉、家庭、商業、工業等の資格取得を奨励する。
- ⑤ 系列別学習を通じた体験的な学びと職業研究を通し、働くことを具体的にイメージさせる。
- ⑥ 地元企業等との連携を深め、就業体験の機会を設ける。

(4) 特別活動等

- ① ボランティア活動・体験活動の意義を考えさせ、主体的に参加する生徒を育成する。
- ② 生徒会活動や部活動において、地域の保育園等との積極的な交流を図る。
- ③ 地域のNPO法人や地域の伝統文化団体等の活動と連携して感動体験の機会を増やし、地域社会の将来の担い手としての素地を養う。